

第三者評価結果

事業所名：相模原市立陽光台保育園

A-1 保育内容

| A-1-(1) 全体的な計画の作成 | 第三者評価結果 |
|--|---------|
| <p>A-1-(1)-①</p> <p>【A1】 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。</p> | a |
| <p><コメント></p> <p>全体的な計画は、児童憲章や児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえ、相模原市保育目標や園の保育目標、重点目標に基づいて作成しています。作成にあたっては、子どもの発達過程を月齢・年齢を目安に設定し、個別配慮や子どもの家庭状況、地域の実態などを考慮しています。全体的な計画は、主査が中心となり、全員の意見を集約したものを作成しています。</p> | |
| A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開 | 第三者評価結果 |
| <p>A-1-(2)-①</p> <p>【A2】 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。</p> | b |
| <p><コメント></p> <p>建物は鉄筋コンクリート造平屋建てで各部屋は、南向きで明るく、温湿度計やエアコン、扇風機、加湿器・空気清浄機を使い、園庭に遮光ネットを設置するなど適切な環境を整えています。保育室や廊下などは、毎日清掃・消毒を実施し、月に一度エアコンなどの掃除を行い、布団シーツなどは、週末保護者が洗濯し、月に一度業者による布団乾燥を行い、衛生管理に努めています。毎週「ぴかぴかデー」には子どもたちと共にロッカー掃除や園庭のごみ拾いなどを行っています。棚やロッカーの転倒防止や、棚や窓側の角などにクッション材の取り付けを実施し、誤飲防止に合わせた大きさや発達・年齢にあった玩具などを使用しています。保育室を分け、動きのある遊びと静かな遊びができる環境を作り、ホールは、パーティーで落ち着ける場所を確保しています。入れ替え制やランチルームの使用など食事と活動の場を分けています。手洗い場やトイレは、清潔に掃除され、幼児用便器は自動洗浄で、トイレの個室ドアにイラストを貼り、子どもたちが入りやすい雰囲気を作っています。</p> | |
| <p>A-1-(2)-②</p> <p>【A3】 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。</p> | a |
| <p><コメント></p> <p>入園時の児童家庭調査票（健康状態）・プロフィールシート（子どもの姿）をもとに子ども一人ひとりの理解に努め、発達や家庭状況に応じた関わりをしています。また、職員会議や乳幼児の会議、ケース会議において子どもたちに合わせた関わりができるよう職員に周知しています。子どもの気持ちに寄り添い、安心して気持ちが表現できるように気持ちを受け止めています。また、スキンシップを図り信頼関係を深めるように関わっています。自分の気持ちを表現するのが難しい子どもには、必要に応じて言葉を補ったり代弁するなどし、相手に伝えられるよう促しています。職員は、「自己評価チェック表」や「人権擁護のためのセルフチェックリスト」などを使い、日々の保育の振り返り、言葉遣いや子どもへの関わりなどの確認を行っています。また、クラス内だけでなく職員間で気づいた時に望ましい言葉遣いを伝え合うようにしています。</p> | |
| <p>A-1-(2)-③</p> <p>【A4】 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。</p> | a |
| <p><コメント></p> <p>子どもの興味や発達に応じて、自分でやってみようと思えるような声かけや関わりを丁寧に行っています。0~3歳児は全員、4、5歳児は必要に応じてタオル掛け・靴下入れなどにマークシールをつけ自分の持ち物の場所がわかるようにし、玩具や棚に写真やイラストをつけて片付けやすい工夫を行っています。保護者と連携して子どもたちのリズムを把握し、0、1歳児は午前寝を取り入れるなど子どもの様子や状況によって静と動で活動場所を分けて過ごせるように工夫しています。絵本やスケッチブックシアターなどは子どもたちにもわかりやすい題材を使い、基本的な生活習慣を身につける大切さを伝えています。手洗い場にポスターやイラストを貼り、手洗い・うがいの大切さややり方などを知らせ、手洗いチェッカーを使った「手洗い教室」を通して手洗いの大切さを知らせています。また、0、1歳児は替え歌を口ずさみながら手洗いへの興味・関心につなげています。</p> | |

| | |
|--|---|
| <p>【A5】 A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。</p> | a |
| <p><コメント> ランチルームやホールなどは、生活や遊びを分けるなど子どもが生活リズムや活動に集中しやすくなるよう工夫し、着替えやすくするための椅子などを用意しています。クラスやクラスの枠を外したオープン保育の話し合いで、子どもの姿に合った遊びのコーナーを作り、一人ひとりが遊びに集中できるようにしています。園庭や隣接の施設の庭や芝生などで遊ぶ時間を設け、園庭に出られない日はランチルームなどを活用し体操やサーキット活動など室内でも十分に体を動かせるようにしています。平屋づくりの園舎で室内や園庭で年齢に関係なく気軽に子どもたちが関わることができ、年上の子どもに憧れ、年下の子どもに思いやりが育つように保育士は関わっています。園内でメダカやカブトムシなどと触れ合う環境を作り、園庭ではプランターで野菜や花を育てています。療育施設との個別交流や小学生の町探検交流など地域交流を通して様々な人と関わる機会を経験しています。制作コーナーで表現活動が自由に行われるようにし、子どもの興味・関心に合わせて廃材や様々な素材を用意し制作を行っています。</p> | |
| <p>【A6】 A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p> | a |
| <p><コメント> 0歳児と1歳児は、合同クラスのため、0歳児の生活や遊びを確保するため畳スペースや玩具スペースなどの環境を整え、遅番保育は、安全で安心して過ごせるようにクッションや棚を使ってのスペースを確保しています。午前寝や活動により保育室で過ごす時間を作り、3人の特定の保育士との関わりの中でスキンシップやふれあい遊びを楽しみながら少人数でゆったり過ごせるようにしています。また、1対1の関わりの中で表情から気持ちを汲みとり、言葉かけなど応答的な関わりをしています。1歳児との合同保育の中で運動や感触遊びなどの活動の様子を見ることで興味・関心を広げていくようにしています。職員は、保育指針をもとに一人ひとりの成長を「デザインマップ」にし、「月のねらい」を作成し、子どもの姿を話し合い、共通理解をもって関わっています。個人面談や懇談会で子どもの様子や成長を共有し、離乳食の開始時は、保護者が食べさせ確認し、家庭での形状を職員と調理員が確認してから進めています。</p> | |
| <p>【A7】 A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p> | a |
| <p><コメント> 子どもの心身の発達状況や性格を把握し、自分でしたいという気持ちに共感しながら子どもに合わせた声かけや援助のもと、自分でできた喜びや達成感が味わえるように促しています。マットを敷く、コーナークッションの設置など探索活動が十分に行える空間の確保や安全に配慮しています。クラス会議で話し合い、子どもが興味・関心をもっている遊びを提供し自発的に活動できるよう援助しています。自我の育ちによる子どもの姿を丁寧に見守り、保育者も一緒に遊ぶ中で思いを伝えられるよう代弁し、どう相手に伝えればうまく伝わるのかを一緒に考えながら仲立ちをしています。園庭で遊ぶ機会が多く、様々なクラスの子とも関わり、調理員と食事の時の関わりや保育・医療などの実習生との交流があります。送迎時には、当番ノートを活用して子どもの様子を伝えあい、1歳児は連絡帳、2歳児は年4回の情報交換「おおきくなーれ」カードや面談を通して保護者との信頼関係を構築しています。</p> | |
| <p>【A8】 A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p> | a |
| <p><コメント> 3歳児は、保育士が見守る中で興味のあるものを見つけ、集団生活において遊びが広がるように関わり、必要に応じて素材や材料を用意しています。具体的には、忍者の絵本を読み、保育士の作った手裏剣バッチをつけて忍者遊びなどを行っています。4歳児は、好きな遊びを友だちと一緒に遊びこめるようにしています。集団遊びでは、鬼ごっこなどルールのある遊びを取り入れ、ルールを守りながら同じ遊びを楽しむ経験をして、ルールを教えあいながら相手の思いに気づいていけるようにしています。5歳児は、様々な活動を通して得意なことだけでなく苦手なことにも挑戦して「出来た」、という成功体験を実感し、意欲につながるようにしています。お楽しみ会など行事に向けて自分たちで選んだ劇遊びなど友だちと一緒に取り組み協力しあう楽しさを感じることができています。保護者には、保育参観や懇談会などで子どもの育ちや取り組んできた活動を伝え、活動の様子の写真掲示や毎日のお知らせボードで子どもの様子を伝えています。小学校には、毎月園だよりを配布し、園の取組を伝えています。</p> | |
| <p>【A9】 A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p> | b |
| <p><コメント> 平屋建てで園の入り口にはスロープが設置されていますが、建物の条件でバリアフリーなどの実施が難しい点もあります。隣接する相模原市立療育センターとの個別交流の際には子どもが安心できるスペースを設け、落ち着いた安全な環境を作っています。保護者と面談し要望を考慮して個別支援計画を作成し、クラスの指導計画にも反映させています。計画を基本として日々の子どもの状況を把握し、子どもの発達を促すように援助を行いながら保育をしています。また、子ども同士が思いやりの心を持てるような声かけや仲立ちを行い、見守り、その思いに応えています。定期的を受診している子どもの担当医に質問事項をリストアップして園で配慮すべきことの助言をもらっています。また、療育センターの巡回訪問や研修で助言をもらっています。職員は、支援保育コーディネーター研修で得た知識を職員会議や研修報告で周知・共有しています。「わが子の発達が気になった時のハンドブック」を保護者が自由に閲覧できるようにしています。</p> | |

| | |
|---|----------------|
| <p>【A10】 A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p> | a |
| <p><コメント> 年間指導計画をもとにして月間指導計画・週案を作成し、保育を実施しています。また、毎月オープン保育の話をして子どもたちが主体的に遊びが楽しめるように、コーナー設定の見直しや遊びの提供を行っています。子どもの状況に応じてランチルームや使っていない保育室など場所を変えたり、少人数で過ごすなど落ち着いて過ごせるように配慮しています。異年齢と過ごす時には、年齢に応じて子どもが安心して過ごせるよう寄り添い、落ち着ける環境で興味のある玩具で楽しめるようにしています。一人ひとりの生活リズムにあわせ、オープン保育を実施する中で食事時間や食事量を選んだり、家庭での睡眠時間を考慮し、睡眠チェック表に記入して午睡時間にも配慮しています。職員の引き継ぎ事項や保護者への伝達事項は、各クラスの当番ノートやメモに記載し口頭でも伝えていきます。また、保護者への伝達事項は赤ペンで記載し、伝達後はチェックを入れています。朝の子どもの観察や連絡帳、帰りの伝達で保護者とコミュニケーションをとっています。</p> | |
| <p>【A11】 A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p> | a |
| <p><コメント> 幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を踏まえた指導計画を作成し、職員間で共有し、意識しながら保育を行っています。子どもたちに対しても就学に向けて意識・関心が高まるように関わっています。子どもたちに小学校についての話をし、小学校訪問を2回行い、1年生の教室の見学やランドセルを背負わせてもらうなど就学に向けて見通しや期待を持つことができます。保護者には、懇談会を通して就学に向けての話や保護者の不安などを共有することで安心して就学が迎えられるようにしています。また、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を具体例をつけてわかりやすく掲示し、保護者の意識も高まるように配慮しています。就学先の教員が来園し、子どもの様子を見たり保育士と話をすることでスムーズに小学校への移行ができるようにしています。年長児担当が保育所児童保育要録を作成し、園長が確認しています。</p> | |
| <p>A-1-(3) 健康管理</p> | <p>第三者評価結果</p> |
| <p>【A12】 A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。</p> | a |
| <p><コメント> 相模原市の「園児健康管理マニュアル」に基づき、入園時に提出された児童家庭調査票で発達状況の確認や把握を行っています。体調の変化や怪我があった場合は、必要に応じて保護者に連絡を入れ、当番ノートや怪我報告書で遅番職員に引き継ぎ、保護者に状況が伝わるようにしています。また、次の登園時に保護者に状況確認を行っています。「保健計画」と「年齢別衛生プラン」を作成し、計画に基づいて保育を実施しています。怪我や体調不良など子どもの健康状態の周知は、乳幼児会議や職員会議で行い、記録を回覧しています。入園時に入園のしおりで健康管理について説明しています。保護者には、園内にSIDSについてのポスターを掲示して情報提供と注意喚起を行い、職員には、4月の職員会議で周知しています。職員は、睡眠チェック表で呼吸や顔色などの確認をしています。</p> | |
| <p>【A13】 A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。</p> | a |
| <p><コメント> 健康診断や歯科健診の内容や結果は、健康診断個人票や歯科健診票に記録し、園医からの助言等必要な情報は職員会議で職員に周知しています。また、保護者には、気になる事があれば園医に質問できることを伝えていきます。健康診断や歯科健診では、園医に助言を受けて保育に取り入れ、保護者に伝えていきます。保健計画に基づいて保育を実施しています。食後に乳児は麦茶を飲み、幼児はうがいを虫歯予防に取り組んでいます。健康診断の結果は問題があれば、保護者に指導内容を含め、口頭で伝えていきます。また、歯科健診の結果は、歯科健診結果票を渡しています。</p> | |
| <p>【A14】 A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。</p> | a |
| <p><コメント> 相模原市保育園等食物アレルギー対応マニュアルや医師の診断に基づき、保護者に生活管理指導書の提出を依頼し、除去食などに対応しています。また、慢性疾患のある子どもには与薬依頼書などの提出を依頼し、保湿剤を湿布しています。年2回調理員・担任・園長・保護者で面談し、情報を共有し、誤食がないよう職員に周知しています。また、面談時に活動の制限（廃材として牛乳パックなどの使用）の確認を行っています。アレルギーのある児童の食事は、症状に応じて別の机かテープでスペースを分け、職員がそばについたり見守るなど安全に食事ができるように配慮しています。また、ほかの子どもに食事スペースに入らないよう伝え、食後は、手足や口をふいています。職員はアレルギーの外部研修に参加して会議や回覧で情報を共有しています。また、園内研修でアレルギー誤食訓練を実施しています。保護者には、入園時にアレルギー疾患などについて説明し、子どもにもアレルギーについて話しています。</p> | |

| | |
|--|---------|
| A-1-(4) 食事 | 第三者評価結果 |
| <p>【A15】 A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。</p> | a |
| <コメント> | |
| <p>年間指導計画、月間指導計画及び年間食育計画に基づいて食育活動を行っています。食育計画は年齢別に作成し、計画のねらい、子どもの姿、配慮事項が記載されています。園には、ランチルームや各クラスの部屋にランチスペースが設けられており、昼食の時間をゆっくり、落ち着いて過ごすことができます。配膳の際に保育士等は一人ひとりの子どもとやりとりしながら、食べきれぬ量を盛り付けています。保育士はテーブルを回りながら食事の様子を見守り、苦手な食材があった時は「お友だちとせーので食べてみる？」などと声かけをしています。箸やスプーン等の食具は、子どもの発達に合わせて、大きさや機能性のあるものを選んでいきます。食育活動の一環として、4、5歳児は調理の下拵えを行っています。タマネギの皮むき、もやしのひげ取り、ピーマンの種取りなど上手にすることができます。廊下に掲示した食育ボードには、家庭でつくる弁当の提案や、果実酢の作り方、暑い夏を乗り切るおすすめレシピ等を紹介しています。</p> | |
| <p>【A16】 A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。</p> | a |
| <コメント> | |
| <p>一人ひとりの子どもの発達状況等に配慮した食事を提供しています。特に乳児は月齢によって発達の差が大きいため、離乳食は軟らかく煮たり、食材を潰したりして、一人ひとりの子どもに合った調理をしています。アレルギー疾患のある子どもも安心して食べられるように、卵が入っていないマヨネーズを使うなどの工夫をしています。保育士は、子どもの給食やおやつ状況をメモして給食室に提出し、保育士と調理員が連携をして献立や調理の工夫・改善につなげています。市所管課の栄養士が作成した文書「保育現場の皆さんへ」には、季節の食材が示されており、子どもにも分かりやすい季節の食材、メニューを伝えています。季節ごとの行事食が取り入れられています。節分の「鬼のカップケーキ」、ひな祭りの「ちらし寿司」、十五夜の「月見蒸しパン」などが人気です。調理員は、ランチルームで配膳に関わったり、子どもの様子を見たり、話を聞いたりしています。相模原市立保育所調理業務等作業基準に基づき、衛生管理を行っています。</p> | |

A-2 子育て支援

| | |
|--|---------|
| A-2-(1) 家庭と緊密な連携 | 第三者評価結果 |
| <p>【A17】 A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。</p> | b |
| <コメント> | |
| <p>0、1歳児は、毎日連絡帳を用いて家庭と子どもの状況を連絡し合っています。2歳以上児は、園内のお知らせボードに「今日の活動」を掲示して毎日の様子を伝えるほか、年4回「おおきなあれカード」で子どもの状況を伝え合い、家庭と連携しています。また、毎日の登降園の際に、保護者に積極的に声かけを行い、保育の内容を伝え、家庭での様子を聞いています。支援を必要とする家庭への対応にも積極的に取り組んでいますが、まだ十分ではないと考えています。保護者懇談会、個人面談は、保育内容に関する保護者理解の機会となっています。保育参観、運動会、お楽しみ会では、保護者と子どもの成長を共有できる機会としています。日常の保育の様子は、写真とコメントを園内に掲示し、分かりやすく説明しています。個人面談等、保護者との情報交換の内容は個人面談報告書等に記録しています。</p> | |
| A-2-(2) 保護者等の支援 | 第三者評価結果 |
| <p>【A18】 A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。</p> | a |
| <コメント> | |
| <p>保護者とは、登降園の際の積極的な声かけ等によりコミュニケーションを図って信頼関係を築き、相談しやすい環境づくりをしています。新入園児は全員、在園児は希望者と個人面談の機会を設けています。支援が必要と感じる家庭には、登降園の際に親子の様子を見守ったり、声かけを行い個人面談の機会を設けたりしています。面談の日程は、保護者の就労等の個別の事情に配慮して設定しています。相談を受けた職員は、適切な対応ができる様に、園長、副園長、主査等と相談内容を検討し、丁寧な対応ができています。保護者支援の研修を受講した職員は、職員会議等で報告・周知し、内容を職員間で共有し、適切な支援につなげています。相談の内容は、面談記録や児童票に記入しています。</p> | |

| | |
|--|---|
| <p>【A19】 A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。</p> | a |
| <p><コメント> 一人ひとりの子どもの家庭状況や生育歴を把握して、虐待等権利侵害の予防や早期発見、早期対応に努めています。登園時の親子の様子を観察したり、着替えの際には視診により傷や痣がないか確認をしています。気になることがあった場合は、「当番ノート」や保育日誌にその都度記載しています。虐待の兆候があると感じたときには速やかに園長に報告し、園内で対応を協議するとともに、児童相談所等関係機関に連絡をして情報共有しています。虐待等の恐れがあると思われる場合には、保護者の思いに寄り添うなどの予防的な支援をしています。保育日誌のファイルに「早期発見のためのリスト」を綴って適切な対応につなげています。児童相談所等関係機関とは、定期的に会議を行い情報共有するなど連携した取組をしています。虐待防止に関する研修に参加した職員による園内研修を実施し、職員の理解を深めています。「児童虐待早期発見・対応の手引き」や「虐待などの個別相談の心構え」に基づき、虐待防止等に取り組んでいます。</p> | |

A-3 保育の質の向上

| | |
|--|----------------|
| <p>A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）</p> | <p>第三者評価結果</p> |
| <p>A-3-(1)-① 【A20】 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。</p> | a |
| <p><コメント> 保育士は、年間指導計画、月指導計画に基づく保育実践について、クラス内で振り返りの話し合いを行い、各計画の「評価・反省」欄に記載して園長の確認を得ています。クラス内の振り返りの話し合いは、保育士同士の学び合いの場ともなり、保育内容の改善につながっています。園の特徴的な取組が「田の字ワーク」です。田の字の4つの枠を使って課題を整理しています。田の字の左上には「取り組んでいること」、左下には「取り組めなかったこと」、右下には「できなかったことの原因」、右上には「手立て」を記載するワークです。これらの振り返りとは別に、職員一人ひとり、年2回、定められた評価項目が設定された「自己評価チェックシート」による自己評価をしています。これらの振り返りや自己評価を踏まえて、保育所全体の自己評価をしています。この保育所全体の自己評価には、「今年度の評価」と「来年度の課題」が記載され、職員間で共有されるとともに次年度の計画につなげています。</p> | |